

## 導入促進基本計画

### 1 先端設備等の導入の促進の目標

#### (1) 地域の人口構造、産業構造及び中小企業者の実態等

本町の人口構造は、令和2年時点で16,064人（男性7,636人、女性8,428人）〈「令和2年国勢調査結果」（総務省統計局）〉であり、平成27年と比べ2,006人（男性1,023人、女性983人、11.1%）が減少している。

また、全人口に対して65歳以上が占める割合は、県下3位の高齢化率(40.6%)であると同時に、15歳未満の若年人口も1,661人（男性840人、女性821人、10.3%）と全体に占める割合は低く、さらには若年層の都市部への流出が進んでいる現状にある。

産業構造における事業所の割合は、1次産業1.8%、2次産業24.7%、3次産業73.5%〈「平成28年経済センサス活動調査結果」（経済産業省）〉である。

特に本町の基幹産業である漁業や水産業においては、原材料価格高騰の影響もあり廃業者が増え、担い手不足対策として外国人実習生等に頼らざるを得ない状況にある。

また、比較的安定した経営状況にある製造業においても、人材不足の状況が続く中で人材確保に苦慮されているなど、本町の産業は大変厳しい状況にある。

#### (2) 目標

町施策として人材確保や人材育成対策も展開しているが、少子高齢化が進み人口減少が著しい状況にあり、期待する効果を得ることができていない。

産業振興を図るためには、今後、更なる機械化により作業効率を上げ人材面の問題を解消するとともに生産性の向上により事業者の生産コストの抑制を図る。

本計画を策定し、生産性向上に向けた設備投資を展開する事業者として年間2事業者程度を見込み、商工会、金融機関と協調を図りながら支援を行う。

#### (3) 労働生産性に関する目標

先端設備等導入計画を認定した事業者の労働生産性（中小企業等の経営強化に関する基本方針に定めるものをいう。）が年率3%以上向上することを目標とする。

### 2 先端設備等の種類

香美町は海と山に囲まれた地形で、昔から漁業、水産業、畜産業が盛んである。

また、これらを活用した観光宿泊業の他に製造業、サービス業、建設業等の様々な業態の中小企業が本町の地域経済を支えている。

町内にある多種多様な業種において、人材不足は共通する問題であるため、生産性向上に向けた設備を導入することにより作業効率を上げ、人材不足の解消および生産コストの抑制により事業の安定化が図られることを期待し、本計画では、中小企業等経営強化法施行規則第7条第1項に定める先端設備等の全てを対象設備とする。

### 3 先端設備等の導入の促進の内容に関する事項

#### (1) 対象地域

本町の面積は約 369 k m<sup>2</sup>であり、但馬地域全体の 17%を占めている。

また、事業所については、漁業、水産業では比較的事業所が集中しているものの、製造業等は町内に点在していることから香美町全体を対象地域とする。

#### (2) 対象業種・事業

町内にある多種多様な業種において、人材不足は共通する問題である。

このため、生産性向上に向けた設備を導入することにより作業効率を上げ、人材不足の解消および生産コストの抑制により事業の安定化が図られることを期待し、業種や事業の指定は行わない。

### 4 計画期間

#### (1) 導入促進基本計画の計画期間

国が同意した日から2年間(令和5年4月1日～令和7年3月31日)とする。

#### (2) 先端設備等導入計画の計画期間

3年間、4年間、5年間とする。

### 5 先端設備等の導入の促進に当たって配慮すべき事項

公序良俗に反する取組や、反社会的勢力との関係が認められるものについては先端設備等導入計画の認定の対象とはしない。

#### (備考)

用紙の大きさは日本産業規格A4とする。